

資格サポートコーナー ～資格対策講座のご案内～

大阪工業大学では、資格取得・進路支援を行う課外講座として、**■2025年度開講予定講座一覧**
 学生のやる気を伸ばし、将来へのビジョンを明確にする
 様々な講座を開講しています。

今年の4月で資格サポートコーナーは14年目を迎えます。2024年度は昨年度に引き続き、課外講座はeラーニングを中心に実施しましたが、動画視聴だけでなく、一部フォローアップを目的とする対面授業をブレンドした受講形態に変更した講座を追加し、年間延べ300名が課外講座を受講しました。受講生の半数以上を占めたのが、1年次・2年次であり、「自分は何をしたいのか」「どのような分野で、今後どのようにして活躍したいのか」という将来へのビジョンを見据えた大学生活を過ごしたいという積極的な資格取得への意識を大きく感じられた1年となりました。

大学生の4年間は学ぶことも多く、あっという間に経過してしまいます。3年次で就職活動が始まってから資格の取得を意識し始めるのではなく、しっかりと自分のキャリアプランを立て、それに向けた計画的な学習が事前に行えるよう共に考え、それらを確実に証明する為の手段として、また学生一人ひとりのやる気を伸ばすきっかけとして、専門的な知識を活かせる幅広いラインナップをご用意し、それぞれの学生の意向に沿った資格の取得を薦めています。資格取得までの過程においてはもちろん、その後の更なるステップアップまで、専任のスタッフが全力で学生の皆さまをサポートいたします。また梅田・天王寺の学外スクールと連携し、受講可能なラインナップが拡充しております。詳しくは資格・公務員対策講座ガイドをご確認ください。学外スクール「資格とキャリアのスクールnoa」にて大阪工業大学在学学生価格で受講いただけます。今後のご子息・ご息女の更なるご活躍のため、資格に向けての取り組みにご支援を賜りますようお願い申し上げます。

一部の資格対策講座は、**本学の卒業生ならびに
 在学生・卒業生のご家族も在学料で受講いただけます。
 皆さまの更なるスキル向上、自己啓発の機会としても是非ご活用ください。**

受講生の声 国家試験 ITパスポート試験 合格

■ITパスポート試験講座 受講

大阪工業大学 知的財産学部 知的財産学科4年次(受講時4年次) **安井 龍玄さん**

IT企業に就職が決まり、必要となる知識だと思い受講しました。試験日から逆算して学習スケジュールを立て専門用語の使われる場面や意味などの理解に力を注ぎました。また、動画を何回も見返すことが可能だった事と定期的に講義があったため講師に直接聞く事ができたので苦手分野も克服する事ができました。この知識を軸にストラテジ・マネジメント・テクノロジーの全ての分野の応用に活かしたいと思います。学習するにあたり一人では限界があると思いますが講座を受講する事により同じ目標を持った仲間との出会いや親身になってくれる講師との出会いがあり、手厚いサポートもあるため資格取得への最大の近道になるのでぜひ受講してみてください!

お問い合わせ先 資格サポートコーナー 06-6967-9811(大宮直通)
 大宮キャンパス:5号館1階 梅田キャンパス:6階 枚方キャンパス:1号館2階

2025年度 教育センターのご案内 教育センターでは、学びに関する悩みの解決をサポートしています。

大学教育は、高等学校までに定められた知識や能力を身に付けていることを前提に、学生の自主性、自律した学修を基本として進めます。

しかし、大学入学直後は、これまでの受動的な教育・学習から能動的な学修への切り替わりに戸惑う学生や、「高校で物理を学習する機会がなかった」「数学に苦手分野がある」「数学・物理の基礎をしっかり勉強しておきたい」などの悩みを抱える学生が多くなります。

そのような学生のために、教育センターでは、個別の学習相談の実施や、数学・物理系科目の知識の定着をはかる基礎力向上講座を開講し、専属教員や先輩学生が学生の学びを徹底的にサポートしています。

気軽に相談できる環境を整えていますので、授業で困ったことや不安なことがあれば教育センターを訪ねてください。

■教育センターについて ※大宮:大宮キャンパス、梅田:梅田キャンパス、枚方:枚方キャンパス

開室曜日	(大宮)月～金曜日 (梅田)月～金曜日 (枚方)月・火・木・金曜日 ※曜日・時期によって開室時間が異なります。教育センター内の掲示、HP、ポータルサイトで確認してください。
場所	(大宮)大宮5号館1階(シェアスタ内) (梅田)梅田6階(ラーニング・コモンズ内) (枚方)枚方1号館4階(ラーニング・コモンズ内)
教育センター所属教員	(大宮)数学担当:堂之本 篤弘、中田 裕省/物理担当:吉田 福蔵、岡村 多加志、平野 裕一、和田 文孝 (梅田)数学・物理担当:尾形 健一、物理・電気基礎担当:吉田 福蔵 (枚方)数学担当:岩崎 判二/物理担当:安達 照
実施概要	①個別学習相談 あらかじめ設定された時間を利用して、個別に数学・物理・英語系授業科目の課題や個別の質問などの個人指導・学習相談を行っています。学生個々の習熟度に合わせた指導を受けることができます。大学院進学およびグループでの相談にも応じます。 ②基礎力向上講座 数学・物理系の正課授業科目と連携し、高等学校の復習から授業の内容に沿った演習などを盛り込み、知識を定着させる講座です。 ③夏期集中パワーアップ講座・後期直前数学講座 夏期休業期間を利用し、数学・物理科目の高等学校の復習から後期授業の予習までを盛り込んだ基礎学力を強化する講座です。 ※キャンパスごとに講座名・内容が異なりますので、詳細はポータルサイトを通じてお知らせします。
申込方法	①個別学習相談 直接センターにお越しください。 ※担当教員の待機表、基礎力向上講座の時間割は教育センター内の掲示またはHPにて確認してください。 ※枚方の教育センターでは、1号館1階エントランスでも個別学習相談に応じています。 ②基礎力向上講座 直接指定の教室へ行ってください。申込みの必要はありません。 ③夏期集中パワーアップ講座・後期直前数学講座 所定のWebフォームから申込を受け付けます。 詳細については6～7月頃に、ポータルサイト等を通じてお知らせします。

お問い合わせ先 【大宮】教務課:06-6954-4083 【梅田】ロボティクス&デザイン工学部事務室:06-6147-6830 【枚方】情報科学部事務室:072-866-5301

講座名	2025年度実施時期	
公務員試験対策講座	市役所・警察・消防コース	随時申込可
	技術職コース	
	土木職コース	
	クラブ生対象 教養コース	
Microsoft® Office Specialist講座	2年生対象 基礎力強化コース	前期・後期
	Word 365	前期・夏期・後期・春期
	Excel® 365	前期・夏期・後期・春期
	PowerPoint® 365	夏期・春期
	Word 365 Expert	夏期・春期 ^(※2)
	Excel® 365 Expert	夏期・春期 ^(※2)
TOEIC® LISTENING&READING TEST 対策講座	はじめてのTOEIC®クラス(400点)	前期・夏期・後期・春期
	500点クラス	前期・夏期・後期・春期
	600点クラス	前期・夏期・後期・春期
ITパスポート試験講座	800点クラス	前期・夏期・後期・春期
	基本情報技術者試験講座	前期・後期
	情報セキュリティマネジメント試験講座	夏期
ビジネス統計スペシャリスト講座	夏期・春期	
CGエンジニア検定(ベーシック)講座 ^{※1}	前期	
宅地建物取引士試験講座	前期	
ファイナンシャル・プランニング技能検定 3級講座	前期・後期	
簿記検定 3級講座	前期・夏期・後期	
秘書検定 2級講座	前期・夏期・後期	
色彩検定。2級/3級 講座	前期・夏期	
建築士 一級建築士 基本入門講座/二級建築士 準備講座	前期	
二級建築士 試験対策講座(学科指導/学科+製図指導)	通年 ^(※2)	
1級建築施工管理技士 対策講座	前期・後期 ^(※2)	
危険物取扱者試験講座(乙種第4類)	夏期・春期	
ドローン検定(3級対策講座)※大宮キャンパス	夏期・春期	
ドローン検定(3級対策講座・基礎技能講習 併願)※大宮キャンパス	夏期・春期	
設計製図実習講座 ※梅田キャンパス	前期・後期	

注1. ※1については、ライブ配信授業にて実施予定です。
 注2. ※2については、2025年度新規設置予定講座になります。
 注3. 開講講座・時期は都合により変更になることがあります。詳しくは資格サポートコーナーまでお問い合わせください。

OSAKA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

大阪工業大学後援会 会報誌

後援会でスーパーボールすくいを出店(城北祭)



北山祭

城北祭

茶屋町祭



2024年10月～11月にかけて、大宮キャンパスでは第76回城北祭が、梅田キャンパスでは第8回茶屋町祭が、枚方キャンパスでは第27回北山祭がそれぞれ開催されました。城北祭においては後援会でスーパーボールすくいを出店し、多くの方々に楽しんでいただきました。売上金については、令和6年能登半島地震災害義援金としてその全額を寄付させていただきました。また、学生団体の各種展示内容について、後援会の役員・委員で審査を行い、優秀団体にはそれぞれ後援会会長賞を呈呈しました。

CONTENTS

- 2 後援会会長挨拶 岩村 朋美 「新たな門出を祝して」
学生対象の「安否確認システム」「保護者ポータル」について
- 3 学長挨拶 井上 晋 「ご子息・ご息女の門出を祝して」
学位記授与式と入学宣誓式のご案内
- 4 2024年度教育懇談会に参加して
- 6 2025年度定期総会と教育懇談会のご案内
2024年度退任役員から
- 7 就職活動本番突入!
- 8 特集 大阪工業大学 正課インターンシップに参加しました
～これからのショウカツはインターンシップが大切です～
- 10 2024年度主な就職先(大学院)
- 11 2024年度主な就職先(学部)
- 12 学部ニュース(工学部)
大学院進学について
- 13 学部ニュース(ロボティクス&デザイン工学部)
大学院について
- 14 学部ニュース(情報科学部)
大学院進学について
- 15 学部ニュース(知的財産学部)
未来を切り拓き、競争に勝ち抜く力を身につける知的財産教育
- 16 キャンパストピックス
資格サポートコーナー～資格対策講座のご案内～、教育センターのご案内

後援会会報

Vol. 75

2025 MARCH

発行

大阪工業大学 後援会
〒535-8585 大阪市旭区大宮5-16-1
大阪工業大学 学長室庶務課内
☎ 06-6954-4097
✉ OIT.Koenkai@joshu.ac.jp
後援会ホームページ
https://www.oit.ac.jp/japanese/kouen/





大阪工業大学後援会 会長
岩村 朋美

新たな門出を祝して

卒業生・修了生の保護者の皆様、ご子息・ご息女のご卒業・ご修了、誠にありがとうございます。後援会一同、心よりお喜び申し上げますとともに、ご入学以来、後援会活動へのご支援ご協力を賜りましたことに改めて感謝し、御礼申し上げます。

大阪工業大学で学生生活を過ごし、ご立派に成長されたご子息・ご息女の姿に、ご家族の皆様のご喜びもひとしおではないかと拝察いたします。

入学からこの日を迎えるまでの日々は、簡単ではなかったと思います。大阪工業大学では卒業までに様々なハードルがあります。その一つひとつを達成するのは簡単ではなかったはずで、その過程で身に付けられた知識や技術、また人との出会いを通して、育まれた絆はこれからの社会の中で生かされることでしょう。

卒業生の皆様は、これから社会へ巣立たれますが、楽な道ではないかもしれません。いろいろな壁にぶつかり、悩み、戸惑うこともあるかと思いますが、大学で身に付けた力がその

まま生かせるとは限りません。そのような時、皆様に思い出していただきたいのは「世のため、人のため、地域のため、理論に裏付けられた実践的技術をもち、現場で活躍できる専門職業人を育成する。」という建学の精神のもと、学びを重ねてこられたのだということです。社会でリーダーシップを発揮できるプロフェッショナルになり、一人ひとりの芯の強さを発揮し、社会で大きく羽ばたくことを期待されているのです。人は人に支えられて生きています。失敗や後悔のみならず失意さえ、大きく前進していく力になるはずで、そして、共に学んだ仲間、時に優しく、時に厳しく、教え導いてくださった先生方を思い出してください。必ず一人ではないことに思いいたり、ご自分の根底にある自信を思い起こされることでしょう。

大学・大学院で学んだ専門知識、培われた行動力、対人力や創造力を糧に自信を持って社会へ踏み出してください。

最後になりましたが今日までご指導いただきました諸先生方、ならびに手厚くサポートしていただきました職員の皆様に深く感謝申し上げますとともに、心より御礼申し上げます。



大阪工業大学 学長
井上 晋

ご子息・ご息女の門出を祝して

保護者の皆さま、ご子息・ご息女のご卒業・ご修了、誠にありがとうございます。さまざまな経験と努力を積み重ねてこの晴れの日を迎えられ、学位記を手になされた卒業生・修了生諸君に心よりお祝いの言葉をお送りいたします。また、それを支えていただきました保護者の皆さまに厚くお礼申し上げますとともに、心からお喜び申し上げます。

さて、この度卒業を迎えられた学生諸君のほとんどは、ウイズコロナの時代に大学受験を経験され、修了生を含め、入学後も授業や課外活動をはじめとするさまざまな局面で新型コロナウイルスの影響を受けて日常を送られてきたことと思います。そのような状況の中、困難を見事に乗り越え、勉学・研究や就職活動はもちろのこと、プロジェクト活動や課外活動、学園祭など、それぞれに大きな成果を出していただきました。その過程で経験したことや、それらを通じてできた教職員、知人・友人、先輩・後輩との繋がりを財産として次のステップに進んでいただきたいと思っております。ご子息・ご息女の成長の過程に関わることができましたこと、教職員一同、喜びと責任を感じています。卒業生・修了生諸君が、新たな環境で活躍されますことを心より祈念いたします。

保護者の皆様の中には、学園祭をはじめとする各種行

事において、学生諸君の日常の成果をご覧いただいた方も多いかと存じます。また、後援会の皆様にはさまざまな行事にご参加いただき、表彰をはじめとする多くのご支援をいただいております。とくに、後援会総会時の個別懇談会や、地方会場を含む秋の教育懇談会を例年どおり実施できましたこと、大変ありがたく存じます。これらの行事は保護者の皆さまと教員・大学を繋ぐ極めて重要な行事であると認識し、大学の近況やご子息・ご息女の学修状況等を直接お会いしてお話しできる重要な機会として、今後もその内容の充実に努めてまいります。

本年度は、2020年度から私たちが苦しめてきた新型コロナウイルスの影響がほとんどなくなった一方で、円安や物価の高騰といった私たちの日常生活に直接影響を及ぼすような状況が続いています。本学の学生諸君が安心・安全・快適な日常生活を送り、本学で過ごしたことに誇りをもって社会へ巣立っていけるような体制づくりに努めますとともに、持続可能な社会の実現に貢献し、地域に根差す関西唯一の理工系総合私立大学としての発展を目指してまいります。今後とも引き続きご協力・ご支援のほどお願い申し上げます。

学生対象の「安否確認システム」について

「安否確認システム」とは、大規模な災害等が発生した際に、メールを利用して学生の安否情報を迅速に収集し、大学や保護者の皆さまへ配信することができるシステムです。

2018年の大阪府北部地震・西日本豪雨、2019年の台風15号・19号など、大きな災害がありました。今後、南海トラフ巨大地震等の発生が予想される中で、保護者の皆さまがご子息・ご息女を安心して大学へ送り出すことができるよう、安否確認システムをご活用ください。

在学生を対象に、本システムを利用した応答訓練を年に数回実施しますので、ご子息・ご息女が積極的に参加するようお願いいたします。

(保護者の皆さまが、ご子息・ご息女からの家族間連絡メール【下表参照】を受信するためには、ご子息・ご息女が安否確認システムのサイトにアクセスし、保護者さまのメールアドレスを登録する必要があります。)

大阪工業大学 安否確認システム ANPIS について <概要>

- 安否確認メール**: 災害発生時に安否確認メールを自動で送信。保護者・家族へ配信可能。
- 防災情報メール**: 災害発生時の最新情報を保護者・家族へ配信可能。
- 保護者専用メール**: 保護者専用メールを受信するための登録が必要。

2025年度より「保護者ポータル」運用開始

本学では2025年度より新たな学生情報システムを導入します。このシステムは大学から保証人の皆様へ情報発信するための「保護者ポータル」という機能を備えており、今後この機能を用いて学業成績等の情報をお伝えしてまいります。

- 「保護者ポータル」で公開する情報**
 - 学業成績
 - 出欠状況
 - 大学からのお知らせ

※これまでの学業成績簿郵送に代わり、2025年度からは保護者ポータルにて学業成績をお知らせいたします。
※成績照会および出欠状況確認について、学生からの公開不同意の申請があった場合は表示されません。
- 「保護者ポータル」の利用案内**

アクセス方法やアカウント情報等の利用案内を、2025年5月頃に保証人様のご住所宛てに郵送いたします。
- 3.お問合せ先**

学部・研究科	担当部署	連絡先
工学部・工学研究科 知的財産学部・知的財産研究科	教務課	06-6954-4083
ロボティクス&デザイン工学部・ ロボティクス&デザイン工学研究科	ロボティクス&デザイン 工学部事務局	06-6147-6830
情報科学部・情報科学研究科	情報科学部事務局	072-866-5301

学位記授与式と入学宣誓式のご案内

2024年度の学位記授与式が2025年3月19日(水)に、2025年度の入学宣誓式が2025年4月5日(土)に挙行されます。

両式典とも全学部・研究科 大宮キャンパス総合体育館にて実施します。また、式場の様子はインターネット配信により同時中継しますのでそちらからもご視聴ください。

学位記授与式

日 時: 2025年3月19日(水) 10:00~10:50(予定)

場 所: 大宮キャンパス(総合体育館)

対 象: 全学部・研究科

中 継: 当日、開始時間10分前から1時間程度(予定)

その他: 会場の収容人数と来場者の安全確保の観点から、総合体育館へは式典出席学生のみ入場可能とさせていただきます。保護者の方は、総合体育館にはご入場いただけませんので、あらかじめご承知おください。式典の様子は、保護者専用会場(大宮キャンパス内の各教室)にて同時配信映像をご覧いただけます。ただし、教室の席数には限りがありますので、満席になり次第、入場をお断りすることがあります。あらかじめご了承ください。また、同時配信映像については後日インターネット配信も予定しておりますので、ご自宅などで視聴いただくことも可能です。

~卒業記念品について~

卒業生・修了生には今後のご活躍を祈念して、後援会から学部生と大学院生それぞれに大学名を印字した筆記具が記念品として贈られます。

入学宣誓式

日 時: 2025年4月5日(土) 10:00~10:40(予定)

場 所: 大宮キャンパス(総合体育館)

対 象: 全学部・研究科

中 継: 当日、開始時間10分前から1時間程度(予定)

その他: 会場の収容人数と来場者の安全確保の観点から、総合体育館へは式典出席学生のみ入場可能とさせていただきます。保護者の方は、総合体育館にはご入場いただけませんので、あらかじめご承知おください。保護者の方は、保護者専用会場(指定する学内教室)にて同時配信映像をご覧いただけます。ただし、教室の席数には限りがありますので、満席になり次第、入場をお断りすることがあります。あらかじめご了承ください。また、同時配信映像については後日インターネット配信も予定しておりますので、ご自宅などで視聴いただくことも可能です。

式典の中継映像がインターネットでご覧になれます! 大阪工業大学のトップページ (<https://www.oit.ac.jp/>) 上にありますバナーからお入りください。

2024年度

教育懇談会に参加して

2024年度は10月から12月にかけて、大阪・広島・津・高松・福岡・金沢・姫路・奈良の8都市で教育懇談会を開催いたしました。

10月～11月の広島・津・高松・福岡・金沢・姫路・奈良会場および12月の大阪会場（大宮・梅田・枚方）の全会場合わせて449組646人の保護者の方にご参加いただき、盛況のうちに本年度の教育懇談会を終了することができました。

地方会場に参加された皆さまからのご感想をご紹介します。



会長挨拶(高松会場)



学校代表(学長)挨拶(大阪会場)



就職説明(奈良会場)



教務説明(高松会場)

広島会場 工学部 建築学科 3年次

10/13(日) S様

今年度は岡山開催がなく、近い場所が広島でしたので、実家への帰省も兼ねて、参加させて頂きました。
3年生で、これから就活が本格的に始まり、親としても少しは相談に乗ってやれる状況は作っておきたいと思っていたので、いい時期・機会でした。
3年生から実施されるガイダンスの参加や、インターンシップの申込等、秋から本格的に動かなければいけない事を教えて頂き、ありがたかったです。
先生とは、事前に本人と話をさせて頂いていたみたいで、どの企業を目標に動いていけば良いかを具体的に教えて頂き、また、追加で本人に伝える事もさせて頂き、はっきりとした助言を頂いたこと、うれしく思いました。
残念ながら、ゼミの先生ではなかったのですが、それでもこれほど具体的に指導下さることは、大工大の学生と先生との距離の近さが、就職率の高さに繋がっているのだと実感しました。
まだ就活は始まったばかりですが、本人の努力はもちろんのこと、安心してお任せできるのではと思いました。
年に一度、こういう機会を設けて下さり、遠方まで足を運んで下さった先生方、後援会の方々へ感謝申し上げます。
大変お世話になりました。ありがとうございました。

津会場 工学部 都市デザイン工学科 3年次

10/13(日) N様

今回で3回目の参加となります。毎年、三重県内で開催して頂けるので助かります。
説明会では大学の近況や施設、設備の新設等々、説明頂き良い環境下で学生生活を送っていることが理解できました。
また就職に関するサポート内容も理解でき、安心致しました。昼食会では、他の学部や先生や保護者さんの話も聞けて良かったです。個別懇談会では成績や授業の出席状況を詳細に御説明頂き理解できました。
また大学院への進学の説明や就職に関するスケジュール、4年次にゼミだけでなく授業にも出席する薦めも、ご丁寧に時間を取って御説明頂きました。
特に、息子が希望する公務員採用に関する今年度の日程をお聞きし、今後のスケジュールについて御説明を受けた際は、先生方の生徒一人一人に適した事前準備に感動しました。授業での息子の様子、友人との雰囲気等々までお話し頂き、あまり帰省して来ず、また連絡も少ないため不安な点もございましたが解消されました。
息子を大工大に入学させて本当に良かったと感じた有意義な時間で、卒業まで大学に任せて安心だと確信しました。
今後とも息子への御指導よろしくお願い致します。

高松会場 情報科学部 ネットワークデザイン学科 1年次

10/27(日) S様

息子が大工大に入学してから半年がたち、大学生活のことは気になりつつも本人からはあまり詳しく聞くこともないので、今回近くで教育懇談会が開催されるとのことで参加することにしました。大学の現状や就職関連のお話を聞いた後の昼食会では、先生方と対面する形で食事に、最初少し戸惑いましたがすぐに打ち解け、リラックスした雰囲気の中となりました。その後の個人懇談も昼食会の流れのまま堅苦しくなくお話しでき、会話の中で出てくるさまざまな疑問にも一つ一つ丁寧に答えていただけました。特によかったことは、息子の大学内での様子や成績について詳しく知れたこと、今後の選択肢におけるアドバイスをいただけたことです。また、息子を担当する先生と直接お話しができるので、先生の人柄を知る機会にもなり、より大学に対する信頼感が増しました。今回、近くでこのような機会を作っていただき、ありがとうございました。



個別懇談の様子(広島会場)

福岡会場 情報科学部 データサイエンス学科 2年次

10/27(日) T様

学校での様子や成績、就職や進学について詳しい話を聞きたいと思い参加しました。総括説明会では、大工大の経営方針や取り組み、それらを通して学生につけたい力と企業や社会から学生に求められている力についてお話がありました。周りを巻き込み組織やチームの一員として個人の力が発揮できるような人材の育成に取り組まれており、親としてつけたい力と合致していることに安心感を抱きました。
また、就職関係説明会では3年次から始まる就職行事と就職活動の流れ、就職するのに必要な力について説明がありました。特に就職に関しては、学部ごとに専門職員の方にサポートいただき、就職するまで親身になって支援できる体制が整えてあると知り、安心することができました。
さらに、学部の先生との個人面談や会食会もあり、就職や進学に対する疑問や不安、心配事を相談することができました。就職が進学か決めかねているところがあるので、とても参考になりました。
今後ともご指導ご助言よろしくお願い致します。



個別懇談の様子(高松会場)

金沢会場 工学部 電気電子システム工学科 1年次

11/16(土) A様

11月16日の説明会は多くを学ぶ事ができ、大変有意義な時間を過ごす事ができました。
まず子供の学習状況と成績について説明して頂き今後の参考になりました。
また、学校として行っている活動には行動力・結束力・友情を育み、豊かな人間形成と社会に旅立つ準備として学生さん達の為になる活動であると興味を持って拝聴させていただきました。
更に説明会で最も驚いた事は就職活動が3年春から始まり4年夏で大体決まる事です。
要するに入学と同時に就職活動は始まっていると私は解釈致しました。
3年までに多くの単位を取得し就職活動に備えなければいけない、という事でもあります。
また、進学につきましてキャリア支援課の方より大学院の長所とその後の就職状況について説明を頂きました。
その他、学習施設・多岐に渡る活動・海外との交流など、短時間ではありましたが、大体理解する事ができて安心致しました。



個別懇談の様子(福岡会場)

奈良会場 工学部 機械工学科 1年次

11/24(日) O様

今年は奈良でも開催されるということで参加させていただきました。
説明会は新学科の開設や大学院進学について、就職活動でのインターンシップの重要性など、興味深いお話ばかりでした。親の世代とは就職活動も全く違うようなので、エントリーシートの書き方の指導など一人一人丁寧にサポートしていただけるのはとてもありがたいです。
個別懇談では指導を受けている機械工学科の先生から成績状況について教えていただきました。また、コース選択や進路についても相談することができて非常に参考になりました。
就職相談ではインターンシップについて、さらに具体的に教えていただきました。また、就職活動に向けて「大学時代に頑張ったこと」を意識して生活していくことがとても大切なのだとわかりました。
このたびは非常に有意義な機会をいただくことができました。どうもありがとうございました。



個別懇談の様子(金沢会場)

姫路会場 ロボティクス&デザイン工学部 システムデザイン工学科 4年次

11/24(日) U様

教育懇談会の参加は今回で3回目でした。
私たちは大工大では珍しい、沖縄からの参加でしたので、先生や事務局の方に色々とお話をさせて頂きとても貴重な時間を過ごすことができ、夫婦共々、大変感謝しております。
1回目は梅田キャンパス、2回目は三重の津、今回は姫路での参加でした。
息子が通っている梅田キャンパスは、あまりにも立派なビルで驚き、友人に会いがてら訪れた津では、先生や父母の方々とお話しできて、とても楽しい時間でした。
今回は息子(長男)が働く姫路での開催を知り、半分旅行気分での参加でしたが、大学の就職に対しての様々な取り組みなどを聞き、本当にここに連れて良かったと思える懇談会でした。時間の関係で個人面談はできなかったのですが、食事をしながら先生とたくさんお話しもでき、出席率などの資料もいただけたので、ありがとうございました。後は無事卒業できることを祈るのみです。



就職相談の様子(奈良会場)

2025年度

定期総会と教育懇談会のご案内

定期総会

大阪工業大学後援会会則の第10条第2項に基づき、年に1回定期総会を6月に開催しています。

定期総会当日は、総会議事のほかにご子息・ご息女の学校生活について教員と直接お話いただける個別相談の開催を予定しています。

ご子息・ご息女の学校での様子や修学状況、就職活動の最新情報など有意義な情報を得ていただける機会です。

日 程	2025年6月7日(土)
場 所	本学(大宮キャンパス)
主な議題	2024年度事業報告、2025年度役員選任、 2025年度事業計画、2025年度予算



定期総会後の就職講演



教育懇談会(大阪会場)

教育懇談会

2025年度は、大阪・津・岡山・高松の計4都市で開催を予定しています。

大学の現状や就職活動の最新情報などを教職員が直接皆さまにご説明申し上げるとともに、ご子息・ご息女の学校での様子や修学状況について個別に懇談いただけます。

日程	開催場所	対象学部・研究科	その他
10月～11月にかけての いずれかの日曜日	津・岡山・高松	全学部、全研究科	学部生/ 大学院生
12月6日(土)	大阪(本学) 【大宮・梅田・枚方】	【大宮】工学部・知的財産学部・工学研究科・知的財産研究科	いずれか 1会場を 選択
		【梅田】ロボティクス&デザイン工学部・ロボティクス&デザイン工学研究科	
		【枚方】情報科学部・情報科学研究科	

地方開催会場につきましては、諸事情により変更となる場合がございます。あらかじめ、ご了承くださいませよう願いたします。

定期総会および教育懇談会ともに、会員の皆さまにとって有意義な情報を得る機会となっております。是非ご参加ください。

就職活動本番突入!

キャリア支援部から保護者の皆さまへ

2025年3月に学部・大学院を卒業(修了)する学生に対する大卒の有効求人倍率は1.75倍で(前年より0.04ポイント上昇)、前年に引き続き良好な雇用環境であり、いわゆる売り手市場と呼ばれる状況です。すでにほとんどの学生が内定しています。

本学は、全国の大学の中でも常にトップクラスの就職率を維持しています。それを支えているのは、かつてない学びをもたらす「超」教育力、社会の発展に貢献する「超」研究力にあります。また、クラブ活動や鳥人間コンテスト等のプロジェクト活動で鍛えられた人間力もあります。大学入試の合格は決してゴールではなく、限界を超える成長のスタートです。

本学が取り組む就職力は、単に企業から内定を取るための力(面接でうまくしゃべれる力やエントリーシートがうまく書ける力)を身につけることではなく、社会人として社会に貢献できる人間に成長することです。成長こそが就職力であると考えています。社会人としてやっていける力を身につければ、絶対に就職はできます。

就職活動は、思い通りにいかないことが多々あります。そんな時、唯一の拠り所は家族です。落ち込んでいる時は、どこまでも励まし ONLY でお祈りします(ここぞとばかりに普段の生活態度や性格的な短所の指摘は「笑ってコラえて!」)。

今後も教員・キャリア支援部が一丸となって全力でご子女を支援し、卒業までしっかりと伴走しますので、どうぞよろしくお祈りいたします。

キャリア支援部長 阿形 広幸

採用活動の早期化一層進む

2026年3月卒業生は、すでに就職活動の本番に突入し、就職ナビサイトや各企業のホームページから、企業説明会への参加やエントリーを進めています。企業説明会では、企業の採用担当者や現場の社員と直接会話する機会が得られるので、業界理解や仕事理解を深めることができます。しかし、近年では、本格的な就職活動を前に学生が企業で就業体験をするインターンシップ等への参加が就職活動の始まりとして位置づけられ、多くの学生が夏や秋冬のインターンシップ等に参加しています。大手就職情報サイトの新卒採用に関する企業調査によると、2026年卒学生を対象とするインターンシップ等を実施した企業は75%を超え、上場企業だけでなく、予算や人手が限られる非上場の企業でもインターンシップ等の実施がすっかり定着している状況です。企業側のメリットとしては、企業の魅力を十分に伝えられる他、早期から意欲の高い学生と接することができるため、インターンシップ等参加者に対して、早期選考や参加者限定のセミナー・懇親会等を実施する企業も増え、採用活動の早期化がさらに加速している状況です。また、エントリーシートによる書類選考や面接も、6割の企業が企業広報の解禁前(2月以前)までに始めた他、内々定出しの開始時期においても、インターンシップ等からの早期選考による12月と、本選考の3月の2つのピークができ、早期選考が完全に定着した形となっています。早期化の動きは今後さらに拡大することが予想されますので、早い段階からの準備が必要です。

キャリア支援部をフル活用

本学へ直接寄せられる求人は、学生一人当たり求人倍率30倍を超えており、工大生の採用に対して企業から高い評価をいただいております。キャリア支援部には、各企業の採用スケジュールなどの選考情報のほか、就職情報サイトでは見つけにくい、「BtoB企業」といわれる一般にはあまり馴染みのない優良企業情報が多く蓄積されています。本学が「就職に強い」と評価されるのは、先輩たちがキャリア支援部からの情報をフル活用し、積極的かつ諦めずに就職活動をした結果といえます。

2024年度 退任役員から

中村 満利子 副会長
後援会活動を通して教職員の方々の教育への情熱に触れることができ、大阪工業大学にご縁があって本当に良かったと実感した4年間でした。また保護者の皆様との交流は人生の宝物になりました。感謝と共に益々のご発展をお祈り申し上げます。

平原 かおり 監事
長いようで短かった4年間でした。思い返せばコロナ禍での入学式で始まり子供も私も戸惑いの中の大学生生活の始まりでした。後援会の方や先生方の一生懸命に学生や学園の為にサポートをされているのを見て、自分もお手伝いさせて頂こうと思ひ参加させて頂きました。初めての事が沢山あり、ついに行くだけで必死でした。私にとって凄く良い経験になったと同時に、成長させて頂いた4年間だったと思います。後援会の役員として大学に関わる事ができた事に感謝しています。本当にありがとうございました。

寺前 夕起子 監事
振り返ればあっという間の4年間でした。子供の入学宣誓式はコロナ禍もあり保護者はオンラインでの参加でした。また最初の後援会活動も中止になることもありましたが、微力ながら4年間を通してお手伝いできたことや、先生方並びに保護者の皆様、学生さん達と交流出来たことは貴重な体験でした。本当に感謝いたします。今後とも大学と後援会の発展をお祈り申し上げます。

呉 永明 常任委員
後援会活動を通じて、多くの皆様と交流させていただき、本当に感謝しております。コロナ禍等いろいろな困難時に役員委員の皆さん・先生方・職員の皆様が団結し、学園祭、教育懇談会等活动がスムーズにすすみました。これからも後援会活動の益々のご発展をお祈り致します。

上田 昌子 常任委員
4年間の後援会活動を振り返り微力ながらお手伝いが出来、親子共々とても有意義な大学生活を送る事が出来たと胸を張って言えます。大阪工業大学は大学で学んだ事が活かせる仕事に就けるととても良い大学だと感じました。4年間親子で成長させていただきありがとうございます。

飯田 由季子 常任委員
PTA役員の経験を踏まえて自ら申し出て後援会活動に携わらせていただき、教職員の皆様と後援会の皆様と関わる中で、私の糧となる沢山のことを学ばせていただきました。ありがとうございました。末筆ながら大阪工業大学後援会の益々のご発展をお祈り申し上げます。

2027年卒での就活準備も重要

企業の採用活動の早期化により、3年次での就活準備もますます重要になります。

4月から学内での就職ガイダンスから始まり、夏にはインターンシップでの就業体験、学内業界研究会で業界事情を知り、就職模擬テスト・模擬面接や先輩の体験報告会を聞き就活スキルを磨いていきます。12月までには自己理解・分析を終え、どんな業界でどんな職種に就こうとするか軸足を定めておくことが、早期化する企業の採用活動への対応策となります。

そのためにも4月から始まる就職ガイダンスには必ず出席する、インターンシップにも積極的に参加し、キャリア支援部が行う各種支援行事には必ず参加することが重要となってきます。

スタートダッシュから出遅れることのないように、保護者の皆さまからもぜひご指導いただければ幸いです。

大学院進学も視野に入れた進路選択

進路の一つとして大学院進学があります。大手企業への就職も有利になるほか、専門性の高い研究職などをを目指す場合には、大学院修了の優位性が高くなる場合があります。

奨学金制度も充実しています。ゼミの指導教員などとよく相談し、進路選択することが重要です。

特集 大阪工業大学 正課インターンシップに参加しました ~これからのシュウカツはインターンシップが大切です~

学部3年次、大学院1年次は、3月からいよいよ就職活動が本格化していきます。その就職活動をスムーズに進めていくためにも、就業体験や自分自身の振り返りの機会となるインターンシップへの参加が重要視されています。

そこで、今回、2024年度正課インターンシップ(以下、正課インターン)に参加した学生2名[工学部 建築学科 青山 つばささん(インターン先:建築設計事務所)、ロボティクス&デザイン工学部 ロボット工学科 鳴田 瀬名さん(インターン先:メーカー業)]に正課インターンの魅力を聞きました。

Q.1 正課インターンに参加しようと思ったきっかけを教えてください。

青山さん:就職活動を始めるきっかけとして正課インターンに参加しよう決めました。事前ガイダンスで先輩から、事前学習や正課インターンの経験が、今後の進路検討や就職活動に役に立つという話を聞いたことも大きいです。

鳴田さん:私は、将来就きたい仕事や職種が決まっていない状態で、これから就職活動をスタートすることに不安を感じ、正課インターンに応募しました。

Q.2 事前学習について、感じたことを教えてください。

青山さん:事前学習で特に印象的だったのが、正課インターンに参加する際の必要な心構えです。「インターン先企業の社員の方々には通常業務に加えて、インターン学生のために時間を割いてくれている」と学びました。必要な心構えを事前に理解できたことで強い意識を持ってインターンに参加できました。また、自ら進んで行動する自主性の大事さを学び、インターン中のグループワークでは、何があっても納期までに自分たちで確実にやり遂げようと頑張ることができました。

鳴田さん:電話のかけ方などのビジネスマナーを学べたことはもちろんのこと、目標設定の大事さを学んだことで、正課イ

ンターンではスムーズに業務を進められたと感じています。また、効果的なプレゼンテーション資料の作成や、グループでの発表方法の講習では、自分自身をどう表現するかなどが理解できました。パワーポイントのSmartArtの使い方についても学べてよかったです。

Q.3 事前学習後、正課インターンへの参加までに準備したことを教えてください。

青山さん:事前に、インターン先企業のホームページで企業理念や事業内容などを確認しました。インターン先企業が建築設計事務所だったので、お客様に対してどのような提案をしているのか、どのような建築物を作っているのかを中心に確認しました。

鳴田さん:私もインターン先企業のホームページの確認と目標設定を行いました。インターン先企業は金属を製造するための加工機を取り扱う企業だったので、加工機の性能などを調べました。また、目標を「職種を理解する」と定め、正課インターンの職種を事前に調べました。

Q.4 正課インターンに参加して苦労した点、うまくいった点、変化した点を教えてください。

青山さん:正課インターンでは、「実際のクライアントから提示された条件で設計を行う」といった内容でした。苦労した点は、より法律について意識することと、設計を予算内に納めることでした。うまくいった点は、グループでのコミュニケーションです。大学ではグループ設計を行わないのですが、正課インターンでは多くの仲間と議論を交わし、傾聴力を意識しながら進めました。変化した点は、学生にしかできない設計ができると気づいた点です。仕事では、色々な観点を考慮して設計する必要があるため、今大学でできる設計を一所懸命頑張ろうと思いました。

鳴田さん:苦労した点は、正課インターン中では日々、新しい技術や内容を学ぶため、メモが追いつかないなど私自身の整理がうまくいかなかったことです。最終日の成果報告書作成や



鳴田さん

プレゼンテーションも苦労しました。また、実際に加工機を使う就業体験では、操作から部品名まで覚えることが多く大変でした。うまくいった点は、社員の方々とのコミュニケーションです。自主性を心掛けたことで、業界や職種、会社のことを色々教えていただけました。変化した点は、仕事理解が深まったことです。社員の方々とのやり取りの中で自分に合う職種を見つけられたと感じています。

Q.5 正課インターンを通して学んだ点を教えてください。

青山さん:私は2点あります。「目標設定の大事さ」と「建築は一人ではできないと肌で感じたこと」です。目標設定の大事さですが、事前授業でその重要さは理解していたつもりでしたが、正課インターンの初日に「5日間の実習期間の目標を設定してください。」と言われ、目標を定めて業務を行う大事さを感じました。また、インターン先企業が設計した幼稚園に訪問した際には、児童の手が届かないコンセント配置などユーザー目線で設計されており、顧客も含めてチームで仕事に取り組んでいることを強く感じました。

鳴田さん:「仕事理解」です。業務内容や仕事内容を学んだことだけでなく、お客様とのコミュニケーションの仕方や、些細なことでも一声かけることでカスタマーファーストを実現できることを学びました。社員の方々と普段接している中で、カスタマーファーストを重要視していることが伝わり貴重な経験になりました。

Q.6 正課インターンに参加して、就職活動に活かした点を教えてください。

青山さん:私は、正課インターンに参加するまで、学部で卒業して、就職しようと思っていたのですが、参加したことによって、社会課題を建築でどのように解決するのかということに興味がありました。そのため、卒業後は大学院に進学して、さらに設計の理解を深めてお客様や社会の役に立ちたいと感じています。

鳴田さん:技術職・エンジニア職は様々な仕事がありますが、現場での体験で職種理解が深まったことです。志望職種が決まったので、その業務を実際にどのように行かかを想像しながら就職活動を進めることができたと思います。また、インターン先企業でフィードバック面談を実施していただき、面接のポイントなどを知ることができ、面接対策ができました。

Q.7 後輩たちに向けてメッセージをお願いします。

青山さん:就職活動を何から始めていいかわからない学生ほど、この正課インターンはお勧めです。授業として参加でき、事前授業もとても役に立ちました。

鳴田さん:正課インターンに参加することで就職活動の意識は高まり、自分で行動を起こすことができました。公募制インターンシップでは選考が長かったり、希望が叶わなかったりということがありますが、正課インターンの場合は、希望した企業に参加できる可能性が高いのでお勧めです。

*公募制インターンシップとは就職ナビサイトなどを通じたインターンシップのこと。

2025年度 正課インターンシップ「事前ガイダンス」のお知らせ

本学の正課インターンシップを履修するためには、以下の事前ガイダンスに出席する必要があります。希望者は確認もれのないようにしてください。

*学生自身がナビサイト等を通じて、自分で申し込む公募制インターンシップ参加希望者は、出席する必要はありません。

●**対象学年** 学部3年次、大学院1年次
(工学部、工学研究科、ロボティクス&デザイン工学部、ロボティクス&デザイン工学研究科、知的財産学部)

●**事前ガイダンス内容**
正課インターンシップの概要説明、正課インターンシップ申込方法、スケジュール、遵守事項についての説明

●**実施日時**
2025年3月5日(水) 13:30~14:30
大宮キャンパス 234教室
2025年3月7日(金) 14:30~15:30
梅田キャンパス 1105教室
2025年3月13日(木) 14:30~15:30
大宮キャンパス 661教室



青山さん

工学研究科

建築・都市デザイン工学専攻
建築学コース

- (株)大林組
(株)竹中工務店
大和ハウス工業(株)
(株)フジタ
三井住友建設(株)
(株)NTTファシリティーズ
(株)梓設計
(株)山下設計
ジェイアール西日本コンサルタンツ(株)
八千代エン지니어リング(株)
(株)安井建築設計事務所
(株)大建設
(株)類設計室
(株)織本構造設計
(株)能勢建築構造研究所

建築・都市デザイン工学専攻
都市デザイン工学コース

- 西日本高速道路(株)
パンフィックコンサルタンツ(株)
(株)建設技術研究所
(株)エイト日本技術開発
(株)長大
(株)ニュージェック
川崎地質(株)
日本ファブテック(株)
協和設計(株)

電気電子・機械工学専攻

電気電子工学コース

- セイコーエプソン(株)
ローム(株)
(株)日建設
ダイハツ工業(株)
マイクロンメモリジャパン(株)
ドコモ・テクノロジー(株)
NECネットエスアイ(株)
プライムブランド&エナジーソリューション(株)
ヌヴォンテクノロジージャパン(株)
シンフォニアテクノロジー(株)
三菱電機エンジニアリング(株)
日新イオン機器(株)
(株)メガチップス
村田機械(株)
東レエンジニアリング(株)

電気電子・機械工学専攻

機械工学コース

- トヨタ自動車(株)
本田技研工業(株)
日産自動車(株)
(株)SUBARU
マツダ(株)
スズキ(株)
(株)デンソー
三菱電機(株)
京セラ(株)
ダイキン工業(株)
ヤンマーホールディングス(株)
(株)村田製作所
住友ゴム工業(株)
NTN(株)
岩谷産業(株)

化学・環境・生命工学専攻
応用化学コース

- 日東電工(株)
東京応化工業(株)
大日本塗料(株)
三菱自動車工業(株)
タキロンシーアイ(株)
エア・ウォーター(株)
ヌヴォンテクノロジージャパン(株)
シキボウ(株)
ニチパン(株)
スガイ化学工業(株)
バンドー化学(株)
テイカ(株)

化学・環境・生命工学専攻

環境工学コース

- 三菱自動車工業(株)
三菱マテリアル(株)
NECネットエスアイ(株)
大和紡績(株)
月島JFEアクアソリューション(株)
明星工業(株)
枚方市役所

化学・環境・生命工学専攻
生命工学コース

- 朝日インテック(株)
富士フイルム富山化学(株)
昭和産業(株)
新明和工業(株)
エア・ウォーター(株)
神戸天然物化学(株)
ピアス(株)
寺崎電気産業(株)
(株)日立プラントサービス
(株)アークレイファクトリー

ロボティクス&デザイン工学研究科

ロボティクス&デザイン工学専攻
ロボティクスコース

- 三菱自動車工業(株)
(株)クボタ
沖電気工業(株)
THK(株)
ダイハツ工業(株)
日立Astemo(株)
(株)ダイヘン
IDEC(株)
シャープ(株)
NTTアドバンステクノロジ(株)
三菱電機コントロールパネル(株)

ロボティクス&デザイン工学専攻
システムデザインコース

- 富士通(株)
三菱電機(株)
富士ソフト(株)
三菱電機ソフトウェア(株)
(株)日立産業制御ソリューションズ
倉敷紡績(株)
島津トラステック(株)

ロボティクス&デザイン工学専攻
建築デザイン・プロダクトデザインコース

- 大成建設(株)
清水建設(株)
(株)竹中工務店
五洋建設(株)
積水ハウス(株)
大和ハウス工業(株)
青木あすなろ建設(株)
(株)浅沼組
関西エアポート(株)
(株)横河建築設計事務所
トランスコスモス(株)
(株)ブランテック

情報科学研究科

情報科学専攻

- (株)NTTドコモ
三菱電機(株)
(株)日立システムズ
(株)大林組
(株)トヨタシステムズ
(株)スクウェア・エニックス
シャープ(株)
エヌ・ティ・ティ・コムウェア(株)
(株)デンソーテン
セコム(株)
三菱電機ソフトウェア(株)
京セラコミュニケーションシステム(株)
三井情報(株)
ニッセイ情報テクノロジー(株)
(株)アドウェイズ

知的財産研究科

知的財産専攻

- 日本電信電話(株)(NTT)
ソニーミュージックグループ
(株)SUBARU
ダイハツ工業(株)
花王(株)
積水ハウス(株)
(株)荏原製作所
YKK(株)
ハウス食品(株)
ミネバアミツミ(株)
ニデック(株)
シャープ(株)
南海電気鉄道(株)
(株)堀場製作所
エア・ウォーター(株)

工学部

都市デザイン工学科

- グローリー(株)
シンフォニアテクノロジー(株)
(株)きんでん
住友電設(株)
(株)ドコモCS関西
(株)デンソーテン
キャノンマーケティングジャパン(株)
アイコム(株)
(株)日立情報通信エンジニアリング
(株)NTTデータNUJ
TOPPANエッジ(株)
(株)エネグート
(株)ジェイテクトマシシステム
(株)京都製作所
(株)日立建機ティエラ

応用化学科

- 山崎製パン(株)
日亜化学工業(株)
積水化成工業(株)
パナソニックエナジー(株)
アイリスオーヤマ(株)
グンゼ(株)
近畿日本鉄道(株)
(株)ノーリツ
ホソカワミクロン(株)
オーナンパ(株)
シキボウ(株)
南海化学(株)
TOA(株)
神戸天然物化学(株)
(株)ヨータイ
神島化学工業(株)
ニチアス(株)
大阪シーリング印刷(株)
サンコール(株)
古林紙工(株)

環境工学科

- (株)クボタ
東日本旅客鉄道(株)(JR東日本)
近畿日本鉄道(株)
大和ハウス工業(株)
(株)関電エネルギーソリューション
日本水工設計(株)
東洋炭素(株)
大阪府庁
大阪府役所
大阪広域水道企業団
(株)イシダ
クリアウォーターOSAKA(株)
(株)大気社
(株)丸島アクアシステム
月島JFEアクアソリューション(株)
近畿管区警察局
クボタ環境エンジニアリング(株)
(株)鴻池組
(株)西原環境
大阪府高校教員

生命工学科

- 森永乳業(株)
日東電工(株)
(株)ニップン
(株)ニチレイ
(株)ニチレイフーズ
バンドー化学(株)
ニプロファーマ(株)
大同薬品工業(株)
(株)日立システムズ
(株)ジャパン・ティッシュエンジニアリング
TOA(株)
(株)ライフコーポレーション
ヤマキ(株)
(株)ロック・フィールド
デンソーテクノ(株)
(株)ダスキン
タマホーム(株)
橋本市役所
兵庫県警察本部
国立研究開発法人国立循環器病研究センター

電気電子システム工学科

- 三菱電機(株)
関西電力(株)
京セラ(株)
セイコーエプソン(株)
富士電機(株)
本田技研工業(株)
(株)SUBARU
ニデック(株)
ローム(株)
TDK(株)
(株)竹中工務店
阪神高速道路(株)
近畿日本鉄道(株)
京阪電気鉄道(株)
南海電気鉄道(株)
ヤンマーエネルギーシステム(株)
マクセル(株)
三菱電機エンジニアリング(株)
寺崎電気産業(株)
奈良市役所

ロボティクス&デザイン工学部

ロボット工学科

- 東海旅客鉄道(株)(JR東海)
スズキ(株)
(株)ジェイテクト
ニデック(株)
(株)ダイフク
新明和工業(株)
グンゼ(株)
(株)きんでん
京セラドキュメントソリューションズ(株)
(株)ニトリ
(株)大塚商会

電子情報システム工学科

- 三菱電機(株)
関西電力送配電(株)
(株)大林組
ヌヴォンテクノロジージャパン(株)
富士ソフト(株)

- 日産自動車(株)
UDトラックス(株)
シャープ(株)
Japan Advanced Semiconductor Manufacturing(株)
(株)ユーシオン精機
(株)京都製作所
三菱電機エンジニアリング(株)
三菱電機システムサービス(株)
三井造船特機エンジニアリング(株)
日本放送協会(NHK)
(株)カプコン
ダイキン工業(株)
NECソリューションイノベータ(株)
富士ソフト(株)
大同生命保険(株)
グンゼ(株)
三菱電機(株)
パナソニック(株)
関西電力(株)
京セラ(株)
ダイハツ工業(株)
NTN(株)
(株)ダイフク
南海電気鉄道(株)
富士ソフト(株)
タカラスタンダード(株)
グローリー(株)
フジテック(株)
(株)大塚商会
三菱電機ビルソリューションズ(株)
三菱電機インフォメーションシステムズ(株)
(株)日立ソリューションズ・クリエイト
(株)日立社会情報サービス
ニチコン(株)
SOLIZE(株)

システムデザイン工学科

- 東日本電信電話(株)(NTT東日本)
三菱電機(株)
パナソニック(株)
関西電力(株)
京セラ(株)
ダイハツ工業(株)
NTN(株)
(株)ダイフク
南海電気鉄道(株)
富士ソフト(株)
タカラスタンダード(株)
グローリー(株)
フジテック(株)
(株)大塚商会
三菱電機ビルソリューションズ(株)
三菱電機インフォメーションシステムズ(株)
(株)日立ソリューションズ・クリエイト
(株)日立社会情報サービス
ニチコン(株)
SOLIZE(株)

空間デザイン学科

- 鹿島建設(株)
(株)大林組
積水ハウス(株)
大和ハウス工業(株)
住友林業(株)
旭化成ホームズ(株)
三井ホーム(株)
(株)一条工務店
タカラスタンダード(株)
(株)ニトリ
(株)阪急阪神百貨店
高松建設(株)
セキスイハイム近畿(株)
東洋製鐵グループホールディングス
エレコム(株)
ザ・バック(株)
(株)西松屋チェーン
西日本電信電話(株)(NTT西日本)
(株)オプテージ
(株)インターネットイニシアティブ
伊藤忠テクノソリューションズ(株)
(株)近鉄百貨店
ダイワボウ情報システム(株)
(株)NSD
(株)トヨタシステムズ
NTTアドバンステクノロジ(株)
キャノンITソリューションズ(株)
(株)日立情報通信エンジニアリング
三菱電機ソフトウェア(株)
(株)ペリサープ
みずほ不動産販売(株)
京セラみらいエンビジョン(株)
(株)オージス総研
三菱電機システムサービス(株)
Sky(株)
(株)大和コンピューター
ダイヤトレンド(株)
NTT-ATテクノロジーコミュニケーションズ(株)
日本情報産業(株)
三井住友トラストシステム&サービス(株)
(株)イシダ
(株)TBSグローディア
INSIGHT LAB(株)
デロイトトーマツアクト(株)
パナソニックインダストリー(株)

情報科学部

データサイエンス学科

- 積水ハウス(株)
(株)ニトリホールディングス
三菱総研DCS(株)
日鉄デックスエンジ(株)
高田機工(株)
みずほ不動産販売(株)
(株)アグレックス
三菱電機インフォメーションネットワーク(株)
三菱電機システムサービス(株)
Sky(株)
(株)大和コンピューター
ダイヤトレンド(株)
NTT-ATテクノロジーコミュニケーションズ(株)
日本情報産業(株)
三井住友トラストシステム&サービス(株)
(株)イシダ
(株)TBSグローディア
INSIGHT LAB(株)
デロイトトーマツアクト(株)
パナソニックインダストリー(株)

情報知能学科

- 三菱電機(株)
任天堂(株)
NECネットエスアイ(株)
(株)インターネットイニシアティブ
大同生命保険(株)
日本コムシス(株)
寺崎電気産業(株)
(株)立花エレクトック
セキスイハイム近畿(株)
サトーホールディングス(株)
アイコム(株)
(株)デンソーテン
リコージャパン(株)
日本電子計算(株)
三菱電機ソフトウェア(株)
ユニアドテックス(株)
NTTテクノクロス(株)
東芝デジタルエンジニアリング(株)
NRIネットコム(株)

- (株)オージス総研
(株)NTTデータ関西
スミセイ情報システム(株)

情報メディア学科

- 日本放送協会(NHK)
(株)カプコン
ダイキン工業(株)
NECソリューションイノベータ(株)
富士ソフト(株)
大同生命保険(株)
グンゼ(株)
三菱電機(株)
JVCCケンウッド
Sky(株)
TOPPANエッジ(株)
(株)マキタ
(株)ミライト・ワン
NSW(株)
(株)デンソーテン
三菱電機ソフトウェア(株)
三菱電機システムサービス(株)
富士フイルムビジネスイノベーション(株)
住友電工情報システム(株)
(株)NTTデータ関西
(株)大和総研インフォメーションシステムズ

情報システム学科

- 富士通(株)
ソフバンク(株)
(株)カプコン
ダイハツ工業(株)
(株)日立システムズ
富士ソフト(株)
キャノンITソリューションズ(株)
三菱電機ソフトウェア(株)
ユニアドテックス(株)
Sky(株)
(株)オプテージ
ダイワボウ情報システム(株)
サトーホールディングス(株)
(株)DTS
(株)さくらケーシーエス
パナソニックインフォメーションシステムズ(株)
(株)NTTデータ関西
パナソニックシステムデザイン(株)
セキスイハイム近畿(株)
トヨタコネクティッド(株)
NTTデータ先端技術(株)

ネットワークデザイン学科

- (株)NTTドコモ
西日本電信電話(株)(NTT西日本)
(株)オプテージ
(株)インターネットイニシアティブ
伊藤忠テクノソリューションズ(株)
(株)近鉄百貨店
ダイワボウ情報システム(株)
(株)NSD
(株)トヨタシステムズ
NTTアドバンステクノロジ(株)
キャノンITソリューションズ(株)
(株)日立情報通信エンジニアリング
三菱電機ソフトウェア(株)
(株)ペリサープ
みずほ不動産販売(株)
京セラみらいエンビジョン(株)
(株)オージス総研
三菱電機システムサービス(株)
Sky(株)
(株)大和コンピューター
ダイヤトレンド(株)
NTT-ATテクノロジーコミュニケーションズ(株)
日本情報産業(株)
三井住友トラストシステム&サービス(株)
(株)イシダ
(株)TBSグローディア
INSIGHT LAB(株)
デロイトトーマツアクト(株)
パナソニックインダストリー(株)

知的財産学部

知的財産学科

- 大和ハウス工業(株)
山崎製パン(株)
サンスター(株)
近畿日本鉄道(株)
リンナイ(株)
富士フイルムメディカル(株)
(株)島精機製作所
姫路市消防局
大阪府警察本部
兵庫県警察本部
三浦工業(株)
寺崎電気産業(株)
(株)立花エレクトック
セキスイハイム近畿(株)
サトーホールディングス(株)
アイコム(株)
(株)デンソーテン
リコージャパン(株)
日本電子計算(株)
三菱電機ソフトウェア(株)
ユニアドテックス(株)
NTTテクノクロス(株)
東芝デジタルエンジニアリング(株)
NRIネットコム(株)

大学院進学について

工学部長・工学研究科長 森實 俊充



我が国が、そして世界が直面する高度化した社会問題の解決には、専門的な技術だけでなく分野融合的で領域横断的な知識と技術、国を超えた協働などが必要とされています。

大阪工業大学大学院では、専門性が高くかつ分野横断的な教育研究が行えるように3専攻体制とし、学部4年間と大学院博士前期課程2年間、合計6年間の研究教育を通じた「総合的な能力の涵養」を目指しています。さらに3年間の博士後期課程進学も可能です。

今年度も多くの学生による英語での学会発表や、海外研究支援プログラムを通じた海外派遣、海外の学生と対面で協同作業を行う国際PBLの実施など、グローバル化に対応できる人材育成に努めてきました。コロナ禍前以上の活発さが戻ってきたと実感しています。今後も学生への支援やプログラムの整備など、体制強化に取り組んでいく予定です。

工学部では、教育研究指導體制の強化のために、大学院進学を前提としたコースを設定し各学科にて運用しています。大学院進学によって身につけた能力は、必ずやご子息、ご息女の卒業後の進路選択の可能性を広げます。進路を考える相談がありましたら大学院進学も選択肢の一つとして、前向きにご検討いただければ幸いです。

都市デザイン工学科 国内研修旅行(豪雨や地震による被災地の視察)

工学部と近畿建設協会は、地域社会の発展と人材育成に寄与するため、2023年7月に連携協定を締結しました。これを契機に、都市デザイン工学科は国内研修旅行を企画し、豪雨や地震による被災地の視察を行っています。2023年10月には、2011年の「紀伊半島豪雨」による深層崩壊発生現場(奈良県南部地方)を視察し(1泊2日)、3年次生を中心に21名の学生が参加しました。また、2024年の10月には、その年の「能登半島地震」や「奥能登豪雨」による被災地を視察し(2泊3日)、3年次生を中心に24名の学生が参加しました。学生にとっては、初めての被災地視察であり、特に、液状化による建物の被害(石川県河北郡内灘町)や5mもの海岸隆起(同県輪島市)、さらに道路盛土の崩壊現場(のと里山海道・同県七尾市)が強く印象に残った様子で、都市デザイン工学科での学習意義や自身の将来像を考える良い機会となりました。



海岸隆起

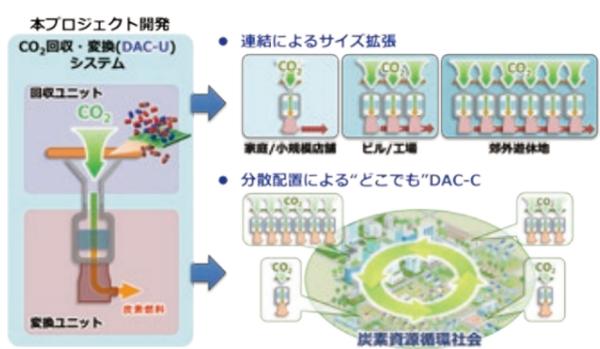


液状化による建物の被害

道路盛土の崩壊

高分子膜でカーボンニュートラル実現へ

応用化学科の材料創造化学研究室ではムーンショット型研究開発事業の再委託先として研究活動を推進しています。近年、50年に一度と叫ばれる大規模な自然災害が毎年のように起こり、地球温暖化への取り組みが急務となっています。本プロジェクトでは大気からCO₂を選択的に分離・回収する材料開発に取り組んでいます。CO₂の大気濃度がここ数年で増加していると言われてますが、実際にはCO₂は大気中に0.04%しか存在しておらず、このガス分率の低さが回収を難しくしています。我々のグループでは高いガス透過性を保持しながら高CO₂選択性を示すガス分離膜の開発を進めています。最近ではガスの透過度5000GPUでかつCO₂/N₂の選択性40以上が成し遂げられるようになってきました。2025年は大阪・関西万博が開催されますが、ムーンショット型研究開発事業で得られた研究成果を万博において紹介する予定です。是非お立ち寄りください。



ムーンショットNEDO 参加メンバー懇親会@京都

大学院について

ロボティクス&デザイン工学部長・ロボティクス&デザイン工学研究科長 井上 明



ロボティクス&デザイン工学研究科は、人を中心に考えた新製品やサービスを体系的に創出できる人材の育成を目的に、デザイン思考を活用したイノベーション教育を行っています。2025年度からは、ロボティクス、システムデザイン、空間デザインの3つのコース体制となり、異なる分野の知識をより広く学べる横断型カリキュラムがさらに充実する予定です。このような学びの活動から、学生はより専門的な「モノづくり力」に加え、創造的な思考法や問題解決能力を身につけ、幅広い視野と高度な専門性を持った人材として成長していきます。

大学院では、授業だけでなく、学会発表や研究会への参加などを通じて、実践的で社会と深いつながりを持った学びを得ることができます。特に、梅田キャンパスの好立地を活かしたさまざまな産学連携が活発に行われています。2025年には大阪・関西万博が開催されることから、ここ梅田地区でも関連イベントが多数予定されています。大学院生が自分の研究テーマや活動を発信する機会になることを期待しています。

理系学生卒業後の進路の一つとして大学院進学は身近なものとなっています。ロボティクス&デザイン工学部卒業後のご子女の進路の一つとして、本研究科への大学院進学もご検討いただければと思います。

エヌビディア合同会社と包括連携協定を締結、連携授業を実施

8月24日、エヌビディア合同会社(以下、NDIVIA)と最先端のテクノロジーを高度に活用したものづくりや高度専門技術者の育成および共同研究の協力・推進に資することを目的とした包括連携協定を締結しました。

12月にはシステムデザイン工学科の「AI・XR応用(大須賀美恵子教授)」の科目にて三日間にわたりNVIDIAの社員に講義いただきました。一日目は、生成AIの基礎と活用事例の講義から始まり、その後学生はテキスト、画像、3次元モデルなどを生成するAIを体験、その体験から現状の生成AIの適切な使い方についてグループに分かれて議論しました。

二日目は、デジタルツインの基礎と3Dワールド構築とシミュレーションを共同で行えるエコシステムOpenUSD(Universal Scene Description)の基礎に関する講義が行われ、最終日は産業界でのデジタルツインの活用事例やインダストリアルデジタルツインを支えるテクノロジーの講義後、二日目に取り上げたデジタルツインの活用例と課題について、学生を交えて活発な議論が行われました。

ロボティクス&デザイン工学部は、学生が学びの成長を実感できる教育を展開し、グローバル視点を有し理論的根拠をもって課題の発見・解決ができる人材を育成する環境を整えます。



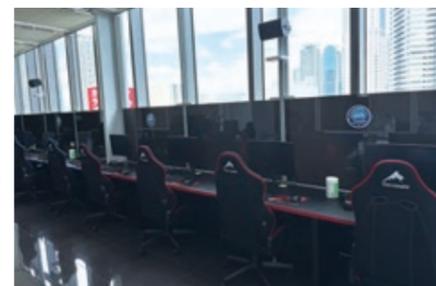
NVIDIAの社員とデジタルツインの活用課題について意見交換する学生

梅田キャンパスにeスポーツ施設が誕生

昨年8月に梅田キャンパスでNVIDIA社製GPUを搭載した高性能ゲーミングPCを導入したeスポーツ施設「OIT esports Digital Area」を開設しました。

同施設には16台のPCすべてにNVIDIA社製GPUを搭載した高性能ゲーミングPCの他、ドライビングシミュレータや、VRゴーグルを設置しています。2025年4月には、同施設を拠点にした学生プロジェクト「OIT 梅田 esports プロジェクト」が開始します。eスポーツとメタバース、VRを題材に、大会への出場や学生主体の活動を推進し、eスポーツを通じた企業と学生のコミュニケーションの場を創造します。

また、NVIDIA社が開発している統合3次元仮想空間システム「NVIDIA Omniverse(オムニバース)」を導入し、メタバース空間上にロボットやAI、建築等のさまざまなデータを取り込み、3次元デジタルグラフィックスを活用して、現実世界と同様のテストシミュレーション(デジタルツイン技術)を行うことができます。



OIT esports Digital Area

施設の詳細はQRコードにアクセスの上、ご覧ください。



大学院進学について

情報科学部長・
情報科学研究科長 塚本 勝俊



近未来のデジタル化した社会、ソサエティ5.0に向けて、AI、データサイエンス、情報システム、セキュリティ、メディア、実世界情報技術が社会の隅々へ浸透しつつあります。これらを駆使して実世界の課題解決に担う人材への要望は非常に大きく大学院教育の重要性はますます高くなっています。学部と大学院を通じた6年間の一貫教育の魅力は、身につけた専門知識を活用して新しい価値を創造し実現する能力が養われることにあります。研究やプロジェクト活動を通じて論理的思考能力、学習持続能力、問題発見/解決能力が大きく発展するわけです。

あらゆる情報技術、ソフトウェア技術を網羅する情報科学部で基礎教育を受け、大学院情報科学研究科に進学した院生諸君は、オリジナリティあふれる修士研究に取り組み、その成果を国内学会や国際会議で発表しています。そこでは企業や行政との共同研究、学部生とチームを組んで産官学地域課題解決型プロジェクト(ソーシャル・オープンイノベーションチャレンジ)にも取り組んでいます。2025年3月には実践的な教育・研究のための国内最大級の実証実験空間を提供するDXフィールドも枚方キャンパスに誕生し、引き続きたくましい技術力と新しいアイデアを創造する力を磨いた修了生が社会に羽ばたいていくことでしょう。

大学院への進学によって高度な情報技術職へのご子息・ご息女の可能性が大きく広がります。卒業後の進路をご検討される時、是非、大学院への進学をお考えいただけますようお願いいたします。

ドローンプロジェクトが学びの場として貢献

ドローンプロジェクトでは、空撮、ドローン競技、ドローンプログラミングなどを目的に活動を行っています。また、このプロジェクトではドローンに関するイベントも積極的に開催しております。特に夏に開催される『超』探究Summer Schoolや枚方市の中学生の部活体験会などでドローンプログラミングの体験イベントを実施しています。さらに昨年の夏季にはドローンの民間資格取得のための講習会も実施しました。これらのイベントには多数の参加者があり、大いに盛り上がりました。これからもDXフィールドを活用し、数多くのドローンに関するイベントを企画・開催する予定です。



ドローンの民間資格講習会

ゲームクリエイトプロジェクトを通じて
社会人基礎力を育成

ゲームクリエイトプロジェクトは、ゲーム制作のプロの先生方から実践的な指導を受けてゲーム制作のイロハを学ぶのはもちろんのこと、制作を通じて社会で必要な「考える、やりきる、振り返る」を身につけることが目的です。2023年の夏から始動し、2024年度は、学園祭などの展示をはじめ、BitSummitや東京ゲームショー2024などの展示会に出展したり、経済産業省後援の「U22プログラミングコンテスト」では、300近い応募作品の中で、SAJ賞を受賞しました。また、信州アプリコンテストや福岡ゲームコンテストなど対外的な活動も多く、学生も成長できるプロジェクトとなっています。



「U22プログラミングコンテスト」でSAJ賞を受賞

2024年度ソーシャル・オープン
イノベーションチャレンジ(ソイチャレ)実施

「ソイチャレ」は、企業や行政等が抱えている様々な課題をアイデアコンテスト(前期)とそれを実装するチャレンジコンテスト(後期)の2部構成で、企業・行政・大学が力を合わせて課題解決を目指す大型プロジェクトです。2024年度は、両コンテストに56チーム、34チームが参加し、昨年度に引き続き、大盛況のうちに終わることができました。集大成のチャレンジコンテスト最優秀賞は、「マイスターカードとオリジナルカードゲームを用いた企業振興(インタラクションデザイン研究室)」で、地元企業のオープンファクトリを支援する取り組みに贈られました。



マイスターカードとオリジナルカードゲーム

2025年4月国内最大級の実証実験設備
「DXフィールド」を開設

「DXフィールド」では、デジタルトランスフォーメーションの実現に必要なAI、IoT、CPS、データサイエンス、ICT、仮想空間技術、サイバーセキュリティなどの多種多様なデジタル技術に関する実証実験を行います。天候に左右されずに多数のドローンの飛行やロボットが動き回ることができる屋内実験空間となっており、物流、農業、防災分野などにおけるAIやソフトウェアで制御されたドローンやロボットの社会応用実験、大規模なXRシステムの研究開発を可能にします。

この新たな教育・研究拠点「DXフィールド」を活用して、豊かな社会と明るい未来を叶える次世代の実践的な情報プロフェッショナル人材を育成します。



「DXフィールド」開設

未来を切り拓き、競争に勝ち抜く力を身につける知的財産教育

知的財産学部長・
知的財産研究科長 五丁 龍志



近年、社会における「知財」の重要性はますます高まっています。グローバル化や技術革新が加速する中、企業が競争力を維持し持続的な成長を遂げるためには、知的財産の戦略的な活用が不可欠です。

企業が収益を上げるために販売する商品やサービスは、顧客ニーズと商品等の差別化要素とが合致したときに「売れる」こととなります。この差別化要素を「①どのように生み出し」「②どのように独占して守り」「③どのように市場を拡大して世の中に価値として提供する」が、企業経営の本質です。実は、近年、この①～③の実践が、知的財産を取り扱う者の役目となってきています。これが本学部の教育カリキュラムをこの数年来、企業経営の要素を大きく取り込む方向にシフトしてきた理由そのものです。

一方、入学してくる学生は、基本的に「消費者」の立場で人生を送ってきていますので、経営的な視点や考え方、知的財産がマーケティングの世界における差別化要素を守る役割を持っていること(もちろん知的財産に関する法律は言わずもがなですが)については知識ゼロです。

学部教育では、上述した経営と知的財産の基本的な知識と、若干のスキルを身につけることをカリキュラム化しており、これを経済社会でそのまま通用するレベルの実践レベルに鍛え上げるのが、専門職大学院知的財産研究科のミッションです。

幸い、日本には大阪工業大学にしか知的財産を専門的・実践的に学べる学部・大学院はありませんので、大手も含めて多くの企業から直接の知的財産人材の求人をしていただく状況が続いています。この専門性を活かし、学生の人生の「差別化」を図るためにも、大学院進学は社会に貢献できる人材へと成長する絶好の機会となるでしょう。

企業懇談会を開催しました

2024年12月16日、梅田キャンパスにおいて「合同企業懇談会」を開催しました。懇談会には、約100名の学生が参加し、企業関係者など約70名に会場いただきました。これは毎年、学生が中心となって運営する懇談会で、企業の知的財産部門をはじめ採用担当の方々をお招きし、学生や教職員と情報交換いただくとともに、知財教育の特色や学生の活動成果のPRの場として活用しています。

報告会では、学生の司会進行とともに3年次生や大学院1年生による研究活動報告や課外活動報告、インターンシップ報告などが行われました。活動報告会終了後は情報交換会が行われ、学生たちは積極的に参加企業の方々に話しかけ、自身のキャリアについて考える大変貴重な体験となりました。



大学院で夏期集中講義を実施しました

グローバル化が加速する現代において、知的財産の重要性はますます高まっています。世界を舞台に活躍できる知的財産のエキスパート育成に力を入れている知的財産専門職大学院では、2024年8月26日から8月30日までの5日間、大宮キャンパスにて、夏期集中講義「IP Studies (Summer Intensive)」を実施しました。

本講義は、米国司法制度・特許訴訟実務、米国や欧州、日本、中国の知的財産制度、WIPO(世界知的所有権機関)の活動、国際知財契約、企業知財戦略等といった多岐にわたるテーマを網羅し、全て英語で集中的に学ぶことができる国際色豊かなプログラムです。

今年も多くの本学大学院生と台湾より雲林大学、高雄科技大学、台北科技大学、台湾科技大学の教員・学生が23名参加し、米国弁護士や企業法務部バイスプレジデントなど、国際的に活躍する経験豊富な講師陣から直接指導を受けることで、実践的な知識を深めつつ国際的な視点と考察力を養いました。また講義やグループディスカッションを受講するだけでなく、異文化交流イベントやミーティングなどを通して、国境を越えた人的ネットワークを築くことができました。

参加者からは、「世界各国の知的財産法務の現状を比較分析することで、より深い理解を得ることができた」「多様な文化や価値観に触れることで、グローバルな視野を身につけることができた」といった声が寄せられています。

大阪工業大学 知的財産専門職大学院は、今後も国際的な教育・研究活動を推進し、世界で活躍できる知的財産のエキスパート育成に尽力してまいります。



早期進学制度の紹介

本学には、優秀な成績を収めた学生を対象に、学部を3年間で卒業し、大学院へ進学できる制度があります。学部3年、大学院2年の計5年という短期間で修士号「知的財産修士(専門職)」を取得でき、高度な専門知識とスキルを身につけ、企業の知的財産部門や特許事務所などで活躍できる道が開けます。本制度は多くの学生に活用されており、今年度は約20名が大学院へ早期進学しました。

さらに、大学院を修了し、所定の要件を満たせば、難関資格である弁理士試験の一部が免除されるという利点もあります。知的財産専門職大学院への進学は、将来の選択肢を広げる大変魅力的な制度です。ぜひ一度、ご検討ください。